



G-Tech Japanが所有するシャシーダイナモ「ダイノジェット」は、愛知県清須市にある同社のファクトリーに設置される。清潔な雰囲気であるところにも好感が持てる。



4C Performance Kitはブーストコントローラーなどを必要としないため、インテリアはスッキリとしたノーマル状態をキープすることが可能だ。

TUNING MENU

●G-Tech 4C Performance Kit
最高出力 241ps→280ps 価格 ¥128,000

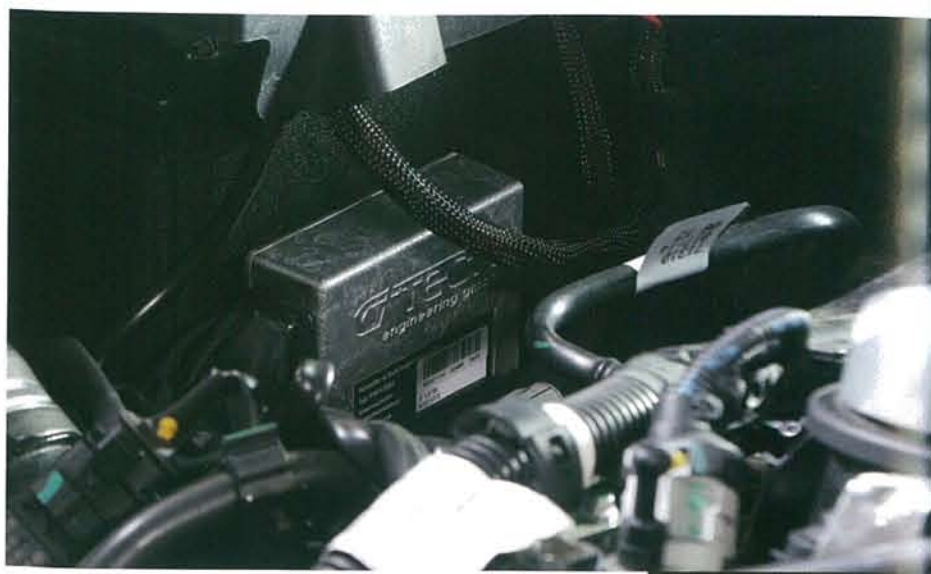
Tuning Car 2015

G-Tech

「G-Tech」にかかれば アルファロメオもお手のもの

アバルトのチューナーとして有名な「G-Tech」。その技術力の高さは本物だ。その証拠に「G-Tech」のサブコンをインストールした4Cは、シャシーダイナモで驚愕のパフォーマンスを披露してくれた。

文●永田恵一／撮影●内藤敬仁 / 佐藤清彦
text by NAGATA Keiichi photos by NAITO Takahito / SATO Yasuhiko
企画●企画集団 音速ムービーズ
取材協力●G-Tech Japan <http://www.g-techgmbh.jp/>



G-Techが得意のサブコンで早くも4Cをチューニング

ドイツ南西部のシテッテンに本社とファクトリーを構える「G-Tech」は、ボルシェやフェラーリ、ランボルギーニ、マセラティ、アルファロメオといった名だたるブランドのエンジンチューニングを経て、最近ではファイアットやアバルトのコンプリートカー製作でも認知度を急速に高めているチューナーだ。「G-Tech」は、非常に高度な技術力を持つことでも高い評価を集めている。その技術力は、ルーフやアルビナといった名門チューナーと同様に、非常に厳しい各種審査のクリアが必要となるドイツ技術審査

会の認証を受けており、自動車メーカーとしても認められているほどだ。「G-Tech」は、日本へも2013年から「G-Tech Japan」の手によりチューニングパーツ、コンプリートカーの導入も始まっており、特にアバルト500をベースにしたコンプリートカー

は、絶対的な速さはもちろんのこと、エキゾーストノートに代表されるドライバの気分を高揚させる雰囲気や完成度、嗜好的なクルマで最も重要なドライビングプレジャーの高さなどでも一目置かれる存在となっている。さらに14年は、日本のスーパー耐久に、アバルト500をベースにルーフを100mm低くし、大幅なパワーアップやそれに対応する各部を抜かりなく強化したチューニングカー、「Sportster GT/R」で参戦を開始。市販車をベース車両とするスーパー耐久は、改造範囲が限られるため、本来持つポテンシャルが鍵となるカテ

ゴリー。そんな過酷な舞台でクルマを鍛え、そこで得たノウハウをコンプリートカーやチューニングパーツの開発にフィードバックする姿勢に共感するファンも増えつつある。「G-Tech Japan」では、日本でもディーラー車のデリバリーが始まってファンからも注目を集めているアルファロメオ4C用のサブコンピューター、「G-Tech 4C Performance Kit」を発売した。同品の概要を簡単に紹介すると「装着するだけでブーストアップを可能とするサブコンピューター」である。装着による性能アップは「G-Tech Japan」によるシャシーダイナモを使ったパワーチェックでは、ノーマル状態の240馬力から約20%パワーアップし、「G-Tech」がうたう280psを上回る290ps超の最高出力を記録するほど。しかも

「G-Tech Japan」が所有するシャシーダイナモは、高性能かつ測定値が辛い数値になるといわれているダイノジェットであるだけに、その実力の高さには恐れ入る。加えて「G-Tech Japan」では、ダイノジェットを使ったコンピュータセッティングも行っており、気候に代表される使用環境がヨーロッパ

パとは大きく異なる日本に合わせたセッティングを施すことで、より高い動力性能と信頼性、耐久性を得ている。さらに「G-Tech Japan」では、エアクリナー、キャタライザー、エキゾースト関係といった吸排気系パーツの導入も計画しており、今後はさらなるパワーアップや、階段を上るように一歩一歩ステップアップしていくというチューニングにも、段階ごとにダイノジェットを使ったコンピュータセッティングも施しながら行うという方法で対応していくという。愛車を育てるように長期間に渡ってチューニングするという楽しみ方ができることも魅力的ではないだろうか。

装着してセッティングを施すだけで大幅なパワーアップを可能とすることや、先々まで楽しむための重要な基盤となるパーツであることを考えれば、価格も非常にリーズナブルといえる。軽量化に寄与するカーボンシャシーの採用などにより、ノーマル状態でも高い性能を持っている4Cであるが、そこにパワーアップを施せば、直線でも大排気量マルチリンダーのスーパーカーと勝負できる動力性能を得られるのは間違いない。4Cオーナーならチューニングの第一歩としてぜひ装着をお勧めしたい。